

各位

2002年12月17日

会社名 株式会社 高島屋
 代表者名 取締役社長 増倉一郎
 コード番号 8233

2002年11月度 高島屋営業報告

主要店舗および広域事業売上高前年増減率

	売上高増減率(%)	入店客数増減率(%)	営業日数増減数
東京店	3.6	3.1	±0日
横浜店	0.1	2.8	±0日
新宿店	1.3	1.1	±0日
関東9店計	0.8	0.6	
大阪店	1.3	1.1	±0日
京都店	1.9	1.8	±0日
関西9店計	1.7	1.3	
全店計	1.2	0.9	
法人事業	6.5		
通信販売事業	16.6		
広域事業(店外)計	12.2		
合計	0.0		

各店の売上高増減率は、店頭ベース。
 関東9店=東京、横浜、新宿、玉川、立川、大宮、柏、高崎、港南台
 関西9店=大阪、和歌山、京都、洛西、堺、泉北、岡山、岐阜、米子
 建装事業は、別会社化にともない2001年9月より広域事業から除く。

商品別売上高前年増減率(百貨店協会商品区分)

紳士服・洋品	0.0
婦人服・洋品	0.5
子供服・洋品	2.7
その他の衣料品	8.2
衣料品計	0.2
身の回り品	0.0
家具	3.1
家電	18.8
その他の家庭用品	8.5
家庭用品計	7.9
食料品	0.7
食堂・喫茶	0.9
雑貨	5.1
サービス	5.1
その他	12.6
合計	0.0

概況

百貨店事業	<p>売上高は、土曜日の1日増に加え、気温の低下に伴い季節衣料品の動きが良かったことなどから、全店計では+1.2%と2カ月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>店舗別では、改装効果が続く堺店(+9.9%)をはじめ、大阪店・京都店・新宿店・横浜店などの主力店舗が好調だった。</p> <p>商品別では、気温の低下により衣料品に動きが見られ、紳士服(+1.3%)、子供服^{レビ}-用品(+2.9%)は好調だったが、月初好調だった婦人服(1.1%)は後半失速した。また食料品はギフト受注の前倒しや「おせち」受注の好調などにより+1.3%と前年を上回った。</p>
広域事業	<p>法人事業は、大口物件の受注不振により前年実績を下回った。また通信販売事業は、冬物衣料品・暖房関連は順調に推移したものの宝飾品・家具インテリア関連・一般食品などの不振により前年実績を大幅に下回った。</p>

以上